



平成 27 年 5 月 20 日

各 位

社 名： 株 式 会 社 ア ー ク  
代 表 者 名： 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 康 夫  
(コード番号： 7873 東 証 第 一 部 )  
問 い 合 せ 先： 執 行 役 員 河 本 俊 之  
TEL： 06 (6260) 1040

## 新中期経営計画策定のお知らせ

当社は、この度平成 28 年 3 月期を初年度とする平成 30 年 3 月期までの 3 年間を対象とした新中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 新中期経営計画の基本的な考え方

当社は、世界 5 極にてグローバルに発展し、事業の永続的な成長を達成するために、次の「4 つの柱」を経営方針と定め、全てのステークホルダーの信頼度向上し企業価値の最大化を目指しております。

- (1) 企業価値の最大化
- (2) 連結経営とグローバル事業の拡大
- (3) リスクを先送りしないガバナンス体制の構築
- (4) 人財の育成

そこで、当該経営方針に基づく新中期経営計画の基本方針を定め、総合開発支援のグローバル・リーディングカンパニーを目指すべく、平成 30 年 3 月期に連結売上高 550 億円以上、営業利益 50 億円以上、ROE 10.0%以上の達成を目標とし、以下の基本方針のもと、中長期的な経営活動を行ってまいります。

#### 2. 新中期経営計画の基本方針

- (1) 事業基盤を強化し、業界トップレベルの収益性を確立
  - ① 収益基盤が脆弱な事業の抜本的改善により、事業基盤の強化を図る
  - ② 「差別化」と「コストリーダーシップ」を両立した事業モデルを確立する
- (2) 全てのステークホルダーに信頼される会社を目指す
  - ① 新中期経営計画の期間中に復配を目指す
- (3) 成長に向けての戦略投資を行いながら、財務健全性の維持を図る
  - ① 工場新設・増産体制整備、事業拡大の投資など積極的な成長投資を促進するも、営業キャッシュフロー等を考慮した適正投資を図る
  - ② シナジー効果が見込まれる事業会社との資本提携、業務提携等を推進する

#### 3. 新中期経営計画における連結経営目標

	平成 27 年 3 月期 (実績)	平成 28 年 3 月期 (計画)	平成 30 年 3 月期 (計画)
	億円	億円	億円
売上高 (平成 27 年 3 月末継続事業 <sup>へ</sup> -入)	475	475	550
営業利益 (同上)	27	30	50
営業利益率 (同上)	5.8%	6.3%	9.1%
ROE (株主資本利益率)	7.2%	6.4%	10.0%
自己資本比率	67.0%	68.0%	68.0%
為替レート (USD/円)	105.8	115.0	115.0
(EUR/円)	140.4	130.0	130.0

#### 4. 新中期経営計画の基本戦略

新中期経営計画の成長戦略では、現状の経営課題を意識した上で、「事業基盤の強化」によるベースとなる収益の拡大と「強みを活かした成長戦略」の推進により更なる差別化と成長を狙うため、以下の具体的な取組みを行ってまいります。

- (1) 事業基盤の強化
  - ① 欧州子会社の収益改善
  - ② オートモーティブ事業の顧客層拡大
  - ③ 試作ボディの生産能力の増強
- (2) 強みを活かした成長戦略
  - ① 新技術の開発  
複合素材（CFRP等）関連ビジネスの推進
  - ② 販売チャネルの拡大  
ラピッドプロトタイピングビジネスのグローバル展開推進
  - ③ 事業シナジーの発揮  
エンジニアリング事業の解析技術を活かした事業連携強化
  - ④ 成長領域での事業拡大  
灯体、車載の試作ビジネス拡大
  - ⑤ 現地開発シフトへの対応強化  
世界5極でオートモーティブ試作をフルサポート

以上のような成長戦略の達成により、製品開発における複合工程を一括受注する「パッケージ・ソリューション」を顧客に提供し、当社グループの確固たるブランドを確立することにより、顧客価値の創造と企業価値の向上を目指してまいります。

#### 5. その他

当該新中期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページにも掲載しておりますので、そちらもご参照下さい。

以 上